



内田 精彦 議員

質問

人工巣塔を建てる考えは

町長

前向きに検討したい



撤去前の電柱での巣作り（奥出雲町内）

質問 国の特別天然記念物コウノトリの飛来、巣作り、ひなの誕生状況は。

町長 令和元年度頃より頻繁に飛来、電柱に巣作りの確認は令和5年度2件、今年度6件、いずれも撤去されている。

質問 コウノトリの保護と共生の環境づくりは。

町長 主要な餌場である水田の生物多様性の保全は持続可能な農業と表裏一体である。たたら製鉄に由来する奥出雲町の資源循環型農業の担い手となる次世代育成など総合的に行い、人と自然との共生のまちづくりに取り組んで行く必要がある。

町長 電柱の上で巣をつくる状況が増えてきて、本場に大事などころに来ている。自然環境が素晴らしい町にコウノトリが来るのは非常に良いことであり、前向きに検討したい。

質問 人工巣塔を建てる考えは。

質問 新聞報道では、JR西との面会に向き姿勢を示したとの記事があった。単独で判断されたこと、今後については。

町長 奥出雲町が単独で判断し、前向きな表現されたことについては、本町の意向したものではなく、関係自治体と協議なく対応したというものではない。両県や関係自治体と相談しながら、慎重に対応する。

質問 木次線観光誘客プロジェクトチームの利用者向けのツアーの造成と販売の促進は。

定住産業課長 旅行商品を造成する旅行会社へ委託や補助す

木次線の在り方は

る形で利用促進を図っている。県外誘客について5社に委託する。2600人を目標。県内事業者で旅行商品を造成するものは、3駅以上の乗車で旅行代金の2分の1、日帰りについては3000円を上限、宿泊を伴うものは5000円を上限の補助で全体の誘客目標は2000人としている。

その他の質問

- ・ 条例と規則
- ・ 都市公園の管理状況
- ・ 消滅可能性自治体から脱却の意気込み